

令和6年度 第1回 大阪市立十三中学校 学校協議会 実施報告書

校名 大阪市立十三中学校

校園長名 吉田 祐一

日時	令和6年6月7日(金) 19:30~20:30	
場所	大阪市立十三中学校 2階会議室	
出席者	委員など	<委員> 乾憲一 合阪円 大西みつる 嶋田宏之 吉田一夫 吉田進彦
	校園	<校長> 吉田祐一 <教頭> 奥野倫弘
	区役所	<保健福祉課教育支援担当課長代理> 岡田覚
議題	1 挨拶、自己紹介 2 「令和6年度 運営の計画」について 3 淀川区の取組について 4 質疑応答	
協議要旨	協議の結果	意見の概要
	2 学校協議会の目的や今年度の本校の取組内容について共通理解が図れた。	・生活指導における「いじめ」と「ふざけ」のグリーゾーンへの対応について。 ⇒判断が難しいところはあるが、(事案の)内容を確認して対応している。 ・不登校生徒の割合について ⇒30日以上欠席者は45人で約12~13%。病気など登校できない原因がある児童を除くと7.3%。不登校支援ルームを立ち上げ、区の不登校対策支援を受けながら不登校支援チームとして取り組んでいる。不登校支援ルームには常時2人、入れ替わりで3~4人が利用。これを、学校に来ることができていない10人くらいへの足掛かりにしたい。また、教室からのクールダウンの場所としても利用している。ルームから教室に復帰できる生徒と残る生徒との温度差…といった課題もある。
3 淀川区の取組についても全体で共有できた。	・「区役所からのお知らせ」資料3「基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり」についての人材の確保とは。 ⇒教員の成り手不足、人材確保が課題となっている。	

	<p>4 質疑応答の中で様々な意見が出た。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝校門に先生が立って声掛けしているが、朝の効果について。また、スポーツが強くなることと生徒の姿勢について。 ⇒朝の挨拶は元々PTAが始められて、その後、教員と一緒にやり、教員へと移って行き、十三中の伝統になっていると聴いている。 ⇒部活動について、教員は授業を中心に業務を行えるように、部活動指導員が11人配置されている。 ・部活動の力は生徒に響いていると感じる。 ⇒以前は部活動指導員の配置に心配をしていたが、だいぶ変わってきている。 ⇒現在学校にはスクールサポートスタッフや教頭補助員、スクールカウンセラー、SSWも含めて多数配置されており、外部の目が入ることのプラス面もある。様々な人の助けを借りながら専門的な支援を受けている。区役所も専門家が繋いでくれているのが心強い。 ・施設開放等で学校にいる際に、ミーティングルームからの会話が良い感じで聴こえてくる。挨拶もしっかりしてくれるのが嬉しい。 ⇒この10年、大きく変わってきている。ただ、油断すると（悪く）になってしまう…ということも言っている。
<p>協議資料</p>	<p>〈区役所配布資料〉 区役所からのお知らせ 学校協議会委員研修資料 〈学校配布資料〉 「令和6年度運営に関する計画」 「教科書展示会」への参加のお願い及びアンケート</p>	
<p>備考</p>	<p> </p>	